



# ストレージの制限

## Cloud Volumes ONTAP

NetApp  
February 11, 2026

# 目次

ストレージの制限	1
AWS のストレージの制限	1
ライセンス別の最大システム容量	1
ディスクおよび階層化の制限は EC2 インスタンスごとに適用されます	1
アグリゲートの制限	5
論理ストレージの制限	6
iSCSI ストレージの制限	6
Azure のストレージ制限	7
ライセンス別の最大システム容量	7
ディスクおよび階層化の制限を VM のサイズごとに設定します	7
アグリゲートの制限	9
論理ストレージの制限	10
iSCSI ストレージの制限	10
Google Cloud のストレージ制限	11
ライセンス別の最大システム容量	11
ディスクと階層化の制限	11
アグリゲートの制限	12
論理ストレージの制限	12
iSCSI ストレージの制限	13

# ストレージの制限

## AWS のストレージの制限

Cloud Volumes ONTAP には、安定した運用を実現するために、ストレージ構成の制限があります最大のパフォーマンスを得るためには、システムを最大値で構成しないでください。

### ライセンス別の最大システム容量

Cloud Volumes ONTAP システムの最大システム容量はライセンスで決まります。最大システム容量には、ディスクベースのストレージに加えて、データの階層化に使用されるオブジェクトストレージが含まれます。ネットアップはこの制限を超えてもサポートしていません。

一部の HA 構成では、ディスク制限により、ディスクのみを使用して 368 TiB の容量制限に達することができません。このような場合は、で 368 TiB の容量制限に達することができます ["使用頻度の低いデータをオブジェクトストレージに階層化します"](#)。詳細については、以下の容量とディスクの制限を参照してください。

使用許諾	最大システム容量（ディスク + オブジェクトストレージ）
調査	2TiB（Explore ではデータ階層化はサポートされません）
標準	10TiB
Premium サービス	368TiB
BYOL	1 ライセンスあたり 368 TiB

HA の場合、ライセンスの容量制限はノード単位か、HA ペア全体に適用されるか

容量制限は HA ペア全体の容量制限です。ノード単位ではありません。たとえば、Premium ライセンスを使用する場合、両方のノード間で最大 368 TiB の容量を確保できます。

AWS の HA システムでは、ミラーリングされたデータは容量制限にカウントされますか。

いいえ、できません。AWS HA ペアのデータは、障害発生時にデータを利用できるように、ノード間で同期的にミラーされます。たとえば、ノード A で 8TiB ディスクを購入した場合、Cloud Manager は、ミラーリングされたデータに使用する 8 TiB のディスクをノード B にも割り当てます。16TiB の容量がプロビジョニングされましたが、ライセンスの上限には 8TiB しかカウントされません。

### ディスクおよび階層化の制限は EC2 インスタンスごとに適用されます

Cloud Volumes ONTAP は EBS ボリュームをディスクとして使用し、最大ディスクサイズは 16TiB です。以下のセクションでは、EC2 インスタンスタイプごとにディスクと階層化の制限を示します。これは、多くの EC2 インスタンスタイプでディスクの制限が異なるためです。また、シングルノードシステムと HA ペアではディスク制限も異なります。

以下のディスク制限は、ユーザーデータが格納されたディスクに固有です。この制限には、ブートディスクとルートディスクは含まれていません。

Explore または Standard ライセンスではディスク制限にアクセスできないため、Premium ライセンスおよび BYOL ライセンスの場合はインスタンスごとにディスク制限が表示されます。

## Premium ライセンスがあるシングルノード

インスタンスタイプ	ノードあたりの最大ディスク数	ディスクのみの場合の最大システム容量	ディスクとデータ階層化による最大システム容量
c4.4xlarge	34	368TiB	368TiB
c4.8xlarge を使用する場合	34	368TiB	368TiB
c5.9xlarge のサイズ	22	352TiB	368TiB
c5.18 × ラージ	22	352TiB	368TiB
c5d.csi	22	352TiB	368TiB
c5d.9xlarge	22	352TiB	368TiB
c5d.18 x ラージ	22	352TiB	368TiB
m4.mc	34	368TiB	368TiB
m5.mc	22	352TiB	368TiB
m5d.8xlarge	22	352TiB	368TiB
r4.2xlarge	34	368TiB	368TiB
r5.2xlarge	22	352TiB	368TiB
r5d.2xlarge	22	352TiB	368TiB

## 1 つ以上の BYOL ライセンスがあるシングルノード

インスタンスタイプ	ノードあたりの最大ディスク数	最大システム容量（1 ライセンスあたり）		複数のライセンスを持つ最大システム容量	
		* ディスクのみ *	* ディスク + データ階層化 *	* ディスクのみ *	* ディスク + データ階層化 *
c4.4xlarge	34	368TiB	368TiB	544 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
c4.8xlarge を使用する場合	34	368TiB	368TiB	544 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
c5.9xlarge のサイズ	22	352TiB	368TiB	352TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
c5.18 × ラージ	22	352TiB	368TiB	352TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
c5d.csi	22	352TiB	368TiB	352TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
c5d.9xlarge	22	352TiB	368TiB	352TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB

インスタンスタイプ	ノードあたりの最大ディスク数	最大システム容量（1 ライセンスあたり）		複数のライセンスを持つ最大システム容量	
		ディスクのみ	ディスクとデータ階層化	ディスクのみ	ディスクとデータ階層化
c5d.18xlarge	22	352TiB	368TiB	352TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
m4.xlarge	34	368TiB	368TiB	544 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
m4.2xlarge	34	368TiB	368TiB	544 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
m4.mc	34	368TiB	368TiB	544 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
m5.xlarge のように指定します	22	352TiB	368TiB	352TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
m5.2xlarge	22	352TiB	368TiB	352TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
m5.mc	22	352TiB	368TiB	352TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
m5d.8xlarge	22	352TiB	368TiB	352TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
R4.xlarge ( R4.xlarge )	34	368TiB	368TiB	544 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
r4.2xlarge	34	368TiB	368TiB	544 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
R5.xlarge ( R5.xlarge )	22	352TiB	368TiB	352TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
r5.2xlarge	22	352TiB	368TiB	352TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
r5d.2xlarge	22	352TiB	368TiB	352TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB

### Premium ライセンスがある HA ペア

インスタンスタイプ	ノードあたりの最大ディスク数	ディスクのみの場合の最大システム容量	ディスクとデータ階層化による最大システム容量
c4.4xlarge	31.	368TiB	368TiB
c4.8xlarge を使用する場合	31.	368TiB	368TiB

インスタンスタイプ	ノードあたりの最大ディスク数	ディスクのみの場合の最大システム容量	ディスクとデータ階層化による最大システム容量
c5.9xlarge のサイズ	19	304 TiB	368TiB
c5.18 x ラージ	19	304 TiB	368TiB
c5d.csi	19	304 TiB	368TiB
c5d.9xlarge	19	304 TiB	368TiB
c5d.18 x ラージ	19	304 TiB	368TiB
m4.mc	31.	368TiB	368TiB
m5.mc	19	304 TiB	368TiB
m5d.8xlarge	19	304 TiB	368TiB
r4.2xlarge	31.	368TiB	368TiB
r5.2xlarge	19	304 TiB	368TiB
r5d.2xlarge	19	304 TiB	368TiB

1 つ以上の **BYOL** ライセンスがある **HA** ペア

インスタンスタイプ	ノードあたりの最大ディスク数	最大システム容量 (1 ライセンス)		複数のライセンスを持つ最大システム容量	
		* ディスクのみ *	* ディスク + データ階層化 *	* ディスクのみ *	* ディスク + データ階層化 *
c4.4xlarge	31.	368TiB	368TiB	496TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
c4.8xlarge を使用する場合	31.	368TiB	368TiB	496TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
c5.9xlarge のサイズ	19	304 TiB	368TiB	304 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
c5.18 x ラージ	19	304 TiB	368TiB	304 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
c5d.csi	19	304 TiB	368TiB	304 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
c5d.9xlarge	19	304 TiB	368TiB	304 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
c5d.18 x ラージ	19	304 TiB	368TiB	304 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
m4.xlarge	31.	368TiB	368TiB	496TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB

インスタンスタイプ	ノードあたりの最大ディスク数	最大システム容量（1 ライセンスあたり）		複数のライセンスを持つ最大システム容量	
m4.2xlarge	31.	368TiB	368TiB	496TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
m4.mc	31.	368TiB	368TiB	496TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
m5.xlarge のように指定します	19	304 TiB	368TiB	304 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
m5.2xlarge	19	304 TiB	368TiB	304 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
m5.mc	19	304 TiB	368TiB	304 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
m5d.8xlarge	19	304 TiB	368TiB	304 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
R4.xlarge ( R4.xlarge )	31.	368TiB	368TiB	496TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
r4.2xlarge	31.	368TiB	368TiB	496TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
R5.xlarge ( R5.xlarge )	19	304 TiB	368TiB	304 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
r5.2xlarge	19	304 TiB	368TiB	304 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
r5d.2xlarge	19	304 TiB	368TiB	304 TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB

## アグリゲートの制限

Cloud Volumes ONTAP は AWS ボリュームをディスクとして使用し、これらを *Aggregate\_* にグループ化します。アグリゲートは、ボリュームにストレージを提供します。

パラメータ	制限（Limit）
アグリゲートの最大数	1つのノード：ディスクリミットの HA ペアと同じです：ノード ^1 の 18
最大アグリゲートサイズ	96 TiB の物理容量 <sup>2</sup>
アグリゲートあたりのディスク数	1-6 <sup>3</sup>
アグリゲートあたりの RAID グループの最大数	1.

注：

1. HA ペアの両方のノードに 18 個のアグリゲートを作成することはできません。これは、作成するとデータディスクの制限を超えてしまうためです。
2. アグリゲートの容量の制限は、アグリゲートを構成するディスクに基づいています。データの階層化に使用されるオブジェクトストレージは制限に含まれません。
3. アグリゲート内のディスクはすべて同じサイズである必要があります。

## 論理ストレージの制限

論理ストレージ	パラメータ	制限 (Limit)
* Storage Virtual Machine (SVM) *	Cloud Volumes ONTAP の最大数 (HA ペアまたはシングルノード)	データ提供用 SVM × 1、ディザスタリカバリ用にデスティネーション SVM × 1ソース SVM で障害が発生した場合は、デスティネーション SVM をデータアクセス用にアクティブ化できます。 <sup>^1</sup> この 1 つのデータ提供用 SVM は、Cloud Volumes ONTAP システム (HA ペアまたはシングルノード) 全体にまたがります。
* ファイル *	最大サイズ	16TiB
	ボリュームあたりの最大数	ボリュームサイズは最大 20 億個です
* FlexClone ボリューム *	クローン階層の深さ <sup>2</sup>	499
* FlexVol ボリューム *	ノードあたりの最大数	500
	最小サイズ	20 MB
	最大サイズ	100TiB
* qtree *	FlexVol あたりの最大数	4,995
* Snapshot コピー *	FlexVol あたりの最大数	1,023

### 注：

1. Cloud Manager では、SVM ディザスタリカバリのセットアップやオーケストレーションはサポートされません。また、追加の SVM でストレージ関連のタスクをサポートしていません。SVM ディザスタリカバリには、System Manager または CLI を使用する必要があります。
  - ["SVM ディザスタリカバリ設定エクスペレスガイド"](#)
  - ["『SVM ディザスタリカバリエクスペレスガイド』"](#)
2. クローン階層の深さは、1 つの FlexVol から作成できる、ネストされた FlexClone ボリュームの最大階層です。

## iSCSI ストレージの制限

iSCSI ストレージ	パラメータ	制限 (Limit)
* LUN*	ノードあたりの最大数	1,024
	LUN マップの最大数	1,024
	最大サイズ	16TiB
	ボリュームあたりの最大数	512
* igroup 数 *	ノードあたりの最大数	256
* イニシエータ *	ノードあたりの最大数	512
	igroup あたりの最大数	128
* iSCSI セッション *	ノードあたりの最大数	1,024
* LIF *	ポートあたりの最大数	32
	ポートセットあたりの最大数	32
* ポートセット *	ノードあたりの最大数	256

## Azure のストレージ制限

Cloud Volumes ONTAP には、安定した運用を実現するために、ストレージ構成の制限があります。最大のパフォーマンスを得るためには、システムを最大値で構成しないでください。

### ライセンス別の最大システム容量

Cloud Volumes ONTAP システムの最大システム容量はライセンスで決まります。最大システム容量には、ディスクベースのストレージに加えて、データの階層化に使用されるオブジェクトストレージが含まれます。ネットアップはこの制限を超えてもサポートしていません。

使用許諾	最大システム容量 (ディスク + オブジェクトストレージ)
調査	2TiB (Explore ではデータ階層化はサポートされません)
標準	10TiB
Premium サービス	368TiB
BYOL	1 ライセンスあたり 368 TiB

**HA** の場合、ライセンスの容量制限はノード単位か、**HA** ペア全体に適用されるか

容量制限は HA ペア全体の容量制限です。ノード単位ではありません。たとえば、Premium ライセンスを使用する場合、両方のノード間で最大 368 TiB の容量を確保できます。

### ディスクおよび階層化の制限を VM のサイズごとに設定します

以下のディスク制限は、ユーザデータが格納されたディスクに固有です。この制限には、ブートディスクとルートディスクは含まれていません。次の表は、ディスクまたは単独の場合の VM サイズ別の最大システム容量と、オブジェクトストレージへのディスクおよびコールドデータの階層化を示しています。

システム容量の制限により、Explore または Standard ライセンスでディスク制限にアクセスできないため、Premium ライセンスおよび BYOL ライセンスの場合は VM サイズでディスク制限が表示されます。

- シングルノードシステムでは、Standard HDD Managed Disks、Standard SSD Managed Disks、および Premium SSD Managed Disks を使用でき、ディスクあたり最大 32TiB を使用できます。サポートされるディスクの数は VM のサイズによって異なります。
- HA システムでは、Premium ページ BLOB をディスクとして使用し、1 ページ Blob に対して最大 8 TiB を使用します。サポートされるディスクの数は VM のサイズによって異なります。

### Premium ライセンスがあるシングルノード

VM サイズ	ノードあたりの最大ディスク数	ディスクのみの場合の最大システム容量	ディスクとデータ階層化による最大システム容量
DS5_v2 の場合	63	368TiB	368TiB
DS14_v2	63	368TiB	368TiB
DS15_v2 の場合	63	368TiB	368TiB

### 1 つ以上の BYOL ライセンスがあるシングルノード



一部の VM タイプでは、次に示す最大システム容量に到達するために複数の BYOL ライセンスが必要です。たとえば、DS5\_v2 で 2 PiB に到達するには 6 つの BYOL ライセンスが必要です。

VM サイズ	ノードあたりの最大ディスク数	最大システム容量 (1 ライセンス)		複数のライセンスを持つ最大システム容量	
		* ディスクのみ *	* ディスク + データ階層化 *	* ディスクのみ *	* ディスク + データ階層化 *
DS3_v2 の場合	15	368TiB	368TiB	480TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
DS4_v2	31.	368TiB	368TiB	896TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
DS5_v2 の場合	63	368TiB	368TiB	896TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
DS13_v2 の場合	31.	368TiB	368TiB	896TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
DS14_v2	63	368TiB	368TiB	896TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
DS15_v2 の場合	63	368TiB	368TiB	896TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB

### Premium ライセンスがある HA ペア

VM サイズ	HA ペア用の MAX Data ディスク	ディスクのみの場合の最大システム容量	ディスクとデータ階層化による最大システム容量
DS5_v2 の場合	63	368TiB	368TiB
DS14_v2	63	368TiB	368TiB
DS15_v2 の場合	63	368TiB	368TiB

### 1 つ以上の BYOL ライセンスがある HA ペア

VM サイズ	HA ペア用の MAX Data ディスク	最大システム容量 ( 1 ライセンス		複数のライセンスを持つ最大システム容量	
		* ディスクのみ *	* ディスク + データ階層化 *	* ディスクのみ *	* ディスク + データ階層化 *
DS4_v2	31.	368TiB	368TiB	248TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
DS5_v2 の場合	63	368TiB	368TiB	504TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
DS13_v2 の場合	31.	368TiB	368TiB	248TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
DS14_v2	63	368TiB	368TiB	504TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB
DS15_v2 の場合	63	368TiB	368TiB	504TiB	1 ライセンスあたり 368 TiB

### アグリゲートの制限

Cloud Volumes ONTAP は Azure ストレージをディスクとして使用し、これらを *Aggregate\_* にグループ化します。アグリゲートは、ボリュームにストレージを提供します。

パラメータ	制限 ( Limit )
アグリゲートの最大数	ディスクリミットと同じ
最大アグリゲートサイズ	シングルノード用の 352TiB の物理容量 <sup>^1</sup> 、 <sup>^2</sup> HA ペア用に 96TiB の物理容量 <sup>^1</sup> <sup>^</sup>
アグリゲートあたりのディスク数	1-12 <sup>3</sup>
アグリゲートあたりの RAID グループの最大数	1.

注：

1. アグリゲートの容量の制限は、アグリゲートを構成するディスクに基づいています。データの階層化に使用されるオブジェクトストレージは制限に含まれません。
2. 9.6 P3 以降では、352 TiB の制限がサポートされています。9.6 P3 より前のリリースでは、シングルノードシステムのアグリゲートで最大 200TiB の物理容量がサポートされます。

3. アグリゲート内のディスクはすべて同じサイズである必要があります。

## 論理ストレージの制限

論理ストレージ	パラメータ	制限 (Limit)
* Storage Virtual Machine (SVM) *	Cloud Volumes ONTAP の最大数 (HA ペアまたはシングルノード)	データ提供用 SVM × 1、ディザスタリカバリ用にデスティネーション SVM × 1ソース SVM で障害が発生した場合は、デスティネーション SVM をデータアクセス用にアクティブ化できます。^1 この 1 つのデータ提供用 SVM は、Cloud Volumes ONTAP システム (HA ペアまたはシングルノード) 全体にまたがります。
* ファイル *	最大サイズ	16TiB
	ボリュームあたりの最大数	ボリュームサイズは最大 20 億個です
* FlexClone ボリューム *	クローン階層の深さ <sup>2</sup>	499
* FlexVol ボリューム *	ノードあたりの最大数	500
	最小サイズ	20 MB
	最大サイズ	100TiB
* qtree *	FlexVol あたりの最大数	4,995
* Snapshot コピー *	FlexVol あたりの最大数	1,023

注：

- Cloud Manager では、SVM ディザスタリカバリのセットアップやオーケストレーションはサポートされません。また、追加の SVM でストレージ関連のタスクをサポートしていません。SVM ディザスタリカバリには、System Manager または CLI を使用する必要があります。
  - ["SVM ディザスタリカバリ設定エクスペンスガイド"](#)
  - ["『SVM ディザスタリカバリエクスペンスガイド』"](#)
- クローン階層の深さは、1 つの FlexVol から作成できる、ネストされた FlexClone ボリュームの最大階層です。

## iSCSI ストレージの制限

iSCSI ストレージ	パラメータ	制限 (Limit)
* LUN*	ノードあたりの最大数	1,024
	LUN マップの最大数	1,024
	最大サイズ	16TiB
	ボリュームあたりの最大数	512
* igroup 数 *	ノードあたりの最大数	256

iSCSI ストレージ	パラメータ	制限 (Limit)
* イニシエータ *	ノードあたりの最大数	512
	igroup あたりの最大数	128
* iSCSI セッション *	ノードあたりの最大数	1,024
* LIF *	ポートあたりの最大数	32
	ポートセットあたりの最大数	32
* ポートセット *	ノードあたりの最大数	256

## Google Cloud のストレージ制限

Cloud Volumes ONTAP には、安定した運用を実現するために、ストレージ構成の制限があります。最大のパフォーマンスを得るためには、システムを最大値で構成しないでください。

### ライセンス別の最大システム容量

Cloud Volumes ONTAP システムの最大システム容量はライセンスで決まります。最大システム容量には、ディスクベースのストレージに加えて、データの階層化に使用されるオブジェクトストレージが含まれます。ネットアップはこの制限を超えてもサポートしていません。

Premium ライセンスおよび BYOL ライセンスの場合、ディスク制限により、ディスクのみを使用して 368 TB の容量制限に達することができなくなります。を使用すると、368 TB の容量制限に達することができます "使用頻度の低いデータをオブジェクトストレージに階層化します"。詳細については、以下のディスク制限を参照してください。

使用許諾	最大システム容量 (ディスク + オブジェクトストレージ)
調査	2TB (Explore ではデータ階層化はサポートされません)
標準	10 TB
Premium サービス	368 TB
BYOL	1 ライセンスあたり 368 TB

### ディスクと階層化の制限

次の表に、ディスクのみの場合の最大システム容量と、オブジェクトストレージへのディスクおよびコールドデータの階層化を示します。ディスク制限はユーザデータが格納されたディスクに固有です。この制限には、ブートディスクとルートディスクは含まれていません。

パラメータ	制限 (Limit)
システムあたりの最大ディスク数	16
最大ディスクサイズ	16 TB
ディスクのみでの最大システム容量	64 TB

パラメータ	制限 ( Limit )
ディスクおよびコールドデータ階層化を使用した最大システム容量 Google Cloud Storage バケット	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Premium : 368 TB</li> <li>• BYOL : 1 ライセンスあたり 368 TB</li> </ul>

## アグリゲートの制限

Cloud Volumes ONTAP は、 Google Cloud Platform のディスクを *Aggregate*. にグループ化します。アグリゲートは、ボリュームにストレージを提供します。

パラメータ	制限 ( Limit )
アグリゲートの最大数	16
最大アグリゲートサイズ	64 TB の未フォーマット時容量 ^1
アグリゲートあたりのディスク数	1-6 <sup>2</sup>
アグリゲートあたりの RAID グループの最大数	1.

注：

1. アグリゲートの容量の制限は、アグリゲートを構成するディスクに基づいています。データの階層化に使用されるオブジェクトストレージは制限に含まれません。
2. アグリゲート内のディスクはすべて同じサイズである必要があります。

## 論理ストレージの制限

論理ストレージ	パラメータ	制限 ( Limit )
* Storage Virtual Machine ( SVM ) *	Cloud Volumes ONTAP の最大数	データ提供用 SVM × 1、ディザスタリカバリ用にデスティネーション SVM × 1ソース SVM で障害が発生した場合は、デスティネーション SVM をデータアクセス用にアクティブ化できます。^1 この 1 つのデータ提供用 SVM は、 Cloud Volumes ONTAP システム全体にまたがります。
* ファイル *	最大サイズ	16 TB
	ボリュームあたりの最大数	ボリュームサイズは最大 20 億個です
* FlexClone ボリューム *	クローン階層の深さ <sup>2</sup>	499
* FlexVol ボリューム *	ノードあたりの最大数	500
	最小サイズ	20 MB
	最大サイズ	100 TB
* qtree *	FlexVol あたりの最大数	4,995
* Snapshot コピー *	FlexVol あたりの最大数	1,023

注：

1. Cloud Manager では、SVM ディザスタリカバリのセットアップやオーケストレーションはサポートされません。また、追加の SVM でストレージ関連のタスクをサポートしていません。SVM ディザスタリカバリには、System Manager または CLI を使用する必要があります。
  - ["SVM ディザスタリカバリ設定エクスペンスガイド"](#)
  - ["『SVM ディザスタリカバリエクスペンスガイド』"](#)
2. クローン階層の深さは、1つの FlexVol から作成できる、ネストされた FlexClone ボリュームの最大階層です。

## iSCSI ストレージの制限

iSCSI ストレージ	パラメータ	制限 (Limit)
* LUN*	ノードあたりの最大数	1,024
	LUN マップの最大数	1,024
	最大サイズ	16 TB
	ボリュームあたりの最大数	512
* igroup 数 *	ノードあたりの最大数	256
* イニシエータ *	ノードあたりの最大数	512
	igroup あたりの最大数	128
* iSCSI セッション *	ノードあたりの最大数	1,024
* LIF *	ポートあたりの最大数	1.
	ポートセットあたりの最大数	32
* ポートセット *	ノードあたりの最大数	256

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。